



みちのくコカ・コーラ杯 キッズサッカーフェスティバル 2014 写真館

日 時: 2014 年 7 月 19 日(土)~20 日(日)
 会 場: 盛岡南公園球技場
 主 催: 公益社団法人岩手県サッカー協会
 共 催: 株式会社岩手朝日テレビ
 主 管: 公益社団法人岩手県サッカー協会 キッズ委員会
 後 援: 岩手県教育委員会/盛岡市/公益財団法人岩手県体育協会/公益財団法人盛岡市体育協会
 特 別 協 賛: みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
 協 力: ミズノ株式会社
 対 象: U-8(小学 1・2 年生で構成されたチーム)/U-10(小学 3・4 年生で構成されたチーム)
 参 加 料: U-8/2000 円 U-10/5000 円
 主 旨: サッカー経験や男女は問わず、参加する子供たち全員にサッカーを楽しんでもらう
 参加者総数: 778 名 (U-8 40 チーム 253 名、U-10 40 チーム 525 名)
 運営スタッフ: ユース審判・チーム帯同審判ほか、JFA 公認キッズリーダー(社会人・高校生)ほか

1 日 目 : U-8 ... 9 グループに分かれて 5 人制・リーグ戦
 U-10 ... 8 グループに分かれて 8 人制・予選リーグ



U-10 開会式の様子





<Bグラウンド>U-10 予選リーグ





【U-8 リーグ戦】南公園球技場 Aグラウンド





2日目(最終日): U-10 ... 決勝トーナメント、フレンドリーマッチ

【U-10 決勝トーナメント】南公園球技場 Bグラウンド





【U-10 決勝戦】

MIRUMAE FC U-10 vs グルージャ盛岡





U-10 閉会式の様子



2日間を終えて

みちのくコカ・コーラ杯 キッズサッカーフェスティバル2014総括

今回のフェスティバル全体を通して見ると、「グリーンカード」がよく似合う2日間だったと思います。なぜかという、グリーンカードの説明にあるように、あいさつをしっかりとすること、相手をリスペクトした上での全力のプレーがあったことが、随所に見られたからです。

U-8では、キッズの本質である「サッカーを楽しむこと」をたくさん感じてもらいたいと思いながら試合を見ました。

どのピッチでも、歓声が上がり、楽しそうであり、さらに真剣なまなざしでボールを追いかけている姿がたくさん見られました。

チームの仲間や試合相手とサッカーを楽しむ。これだけでも「グリーンカード!」と言いたくなるのですが、さらに、2つ素晴らしいことがありました。

その1つ目は、相手ボールを拾いに行ったこと。2つ目は、後片づけを率先してやっていたこと。特に、ボールやビブスをきちんとコーチに渡していた子どもたちがいました。

U-8キッズの、参加したみなさんに、「グリーンカード!」です!

U-10では、3つの視点を持って見ました。

1つ目は、キッズの本質である「サッカーを楽しむこと」と「本気の勝負」を、子どもたちに、たくさん体験してもらいたい、と思いながら試合を見ました。

2つ目は、4年生までの年代で、どんなことができ、どんなことが課題であるかを、指導側として、これから先を見据えるための視点を持って見ました。

3つ目は、オン・ザ・ピッチでも、オフ・ザ・ピッチでもグリーンカードに値するプレーがたくさん出るかな?と思いながら見ました。

(1) サッカーを楽しむこと・本気の勝負

今回のフェスティバル、初日の予選リーグでは、拮抗した試合が多かったです。その拮抗した中で、本気の自分のプレーをし、本気の相手との勝負を通して、さらに上手になったり、もっとうまくなろうという気持ちを持ったりという場面をたくさん見させてもらいました。特に、ボールを持ったときに、スペースを見つけると、ぐいぐいとチャレンジしていく姿や、周りを見て、仲間を信じてパスを回す姿などは、上手だなと思いながら見ました。「もっとうまくなりたい!」を感じたのは、プレーの節々に、「自分はこうしたかった」と口で言ったり、身振り手振りをしたりする子がいたことです。本気の勝負をする中で、子どもたちは成長しているんだと感じました。

(2) できることと課題

①できたこと、よかったこと。

・ボールを持ったときに、ゴールに向かうプレー。

ドリブルで突破を試みるプレーが良かったです。また、ゴール前で落ち着いてまわりの仲間にパスをする場面も見られました。

・相手に取られないプレー

前に進みたいけど、ドリブルのコースに相手がいる。そのときに、ターンをして次のプレーの選択をしていくというプレーがいくつも見られました。この年代で、顔を上げてパスコースを探すこともできる!がスタンダードになると良いと思いました。

・精度の高いキック。

各チーム、セットプレー時に正確なキックを見せてくれる選手がたくさんいました。

②これからの課題。

★キッズはサッカーを楽しむことがメイン。しかし、楽しむためには、技術の向上ももちろん必要。これからのキッズを考えて、4年生には取って課題を考えました。

・ファーストタッチ

自分のもっとも蹴りやすいところに、いつでもどこでもコントロールできるようになってほしいと思いました。

・ボールのもらい方。

年代的に、そろそろ自分と仲間と相手とを考えられるようになっていないはず。試合時間の90%以上はボールのない時の動きをしています。ここがこれからの大きな課題になると思います。

(3) グリーンカード

今回は、本当にあいさつがすてきな選手がたくさんいました。ピッチに入っていくとき、スタンドで見ているとき、会場を後にするとき、いつでも「あいさつ名人」がたくさんいました。その様子を見た、たくさんのお客様の方々や関係者から、お褒めの言葉をいただいたこと、私たちもうれしかったです。

また、ボールを拾ってもらったときに「ありがとうございます」とすぐに言える選手もすてきでした。U-10キッズの、参加したみなさんに、「グリーンカード!」です!

キッズ年代は、育成年代でも「楽しさ」が特に大切な年代です。もちろん、上達していくように指導することもとても大切です(だからこそ、課題を上記しました)。しかし、技術同様に、全力でやること、協力すること、感謝すること、まわりに感動を与えられたり、自分たちが感動させられたりするくらいに取り組むことが大切だと子どもたちのプレーを見て思いました。

開会式で話した4つの「あ」。「あいさつ・あくしゅ・アイコンタクト・ありがとう」を実践し、相手をリスペクトしてプレーする「グリーンカード」がよく似合うU-8、U-10のみなさんはとてもさわやかでした!

J3のグルージャ盛岡と同じピッチ、最高の芝生のピッチで、キッズのみんなが最高のプレーができたこと。これは、たくさんの方々のお力添えがあったからできたことでした。

みちのくコカ・コーラ様、岩手朝日テレビ様をはじめたくさんの方々のお力添えのおかげで、このキッズサッカーフェスティバル2014を開催することができました。おかげさまで、子どもたちの笑顔に出会うことができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

岩手県サッカー協会キッズ委員長 瀬谷 圭太